

事務事業評価シート

(H.30)No.	5045	(H.29)No.	5045
-----------	------	-----------	------

事務事業名	市民センター管理費		
担当部局名	担当室名	室長名	
地域環境部	地域経営室	山口 敦司	

会計区分	事業コード	028601
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 総務費	市民センター費	
項 総務管理費	(小事業名)	
目 市民センター費	市民センター管理費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	5	未来につなぐ自立と協働による市政経営
	基本施策	1	協働のまちづくり
	施策	1	都市内分権の推進
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
指定管理者制度での市民センター等の地域づくり組織による管理運営を行うことにより、地域住民のニーズにあった生涯学習の展開を図ります。
事業内容
指定管理者である地域づくり組織に指定管理料を支払い、地域住民のニーズにあった生涯学習を支援します。また、生涯学習の拠点としてだけでなく、「地域づくり」や「地域コミュニティ」の拠点として更なる発展を目指した市民センターとして運営を行います。緊急性に応じて、施設の改修や補修等を行い、利用し易い施設に改善します。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)	H.30年度(事業量・取組計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	市内17市民センター等の管理運営を指定管理者制度(うち委託1件)を活用して、地域づくり組織が行います。	市内17市民センター等の管理運営を指定管理者制度(うち委託1件)を活用して、地域づくり組織が行います。	市内17市民センター等の管理運営を指定管理者制度(うち委託1件)を活用して、地域づくり組織が行います。	市内17市民センター等の管理運営を指定管理者制度(うち委託1件)を活用して、地域づくり組織が行います。	市内17市民センター等の管理運営を指定管理者制度(うち委託1件)を活用して、地域づくり組織が行います。
	市民センター等の機能強化のために、市民センター訪問、新任研修、マナー研修等を実施しました。また、市民活動の更なる発展を目指し、複数のセンターが集う円卓会議を実施しました。				

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		101,141千円		99,943千円	100,000千円	100,000千円	100,000千円
内訳(千円)	国・県支出金						
	地方債						
	その他(雑入他)		123		49		
	一般財源	0	101,018	0	99,894	100,000	100,000
人工数	職員		0.25人		0.40人	0.40人	0.40人
	臨時職員等		0.00人		0.10人	0.10人	0.10人
②概算人件費	0千円	1,850千円	0千円	3,140千円	3,140千円	3,140千円	3,140千円
①+②総事業費	0千円	102,991千円	0千円	103,083千円	103,140千円	103,140千円	103,140千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
市民センター等の指定管理を地域づくり組織が担うことで、地域ニーズに適合した、生涯学習の推進が図られました。また、「地域づくり」や「地域コミュニティ」の拠点として更なる発展を目指し、「名張市市民センター条例」を制定し、市民センター化を行いました。地域づくり組織が指定管理者となることで、まちづくりの推進をめざした生涯学習の充実が図られています。また管理運営を地域づくり組織に指定することにより、生涯学習及び地域の拠点として効率的な事業展開をしています。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(改善)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
生涯学習、地域づくり並びに地域福祉における地域の拠点施設としてさらに利用しやすいよう充実を図ります。また、規模や人口の地域差がある中で、市民センターの質(内容)を重視した評価方法の検討が必要です。

6. 事務事業の取組に関する市の計画